
俺たち悲しき中学生

レイシス・ヴィ・フェリシティ・煌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺たち悲しき中学生

【Nコード】

N9309Y

【作者名】

レイシス・ヴィ・フェリシティ・煌

【あらすじ】

そんなものはない！！

ただ適当に書くのみだ！！

公民館といえば・・・。（前書き）

思いついたことをつらつら書くだけのユルグダ小説ですので、暇なときに読んでください。
一話短め。

公民館といえば・・・。

＊公民館＊

俺の名前は日真田洋介。
ひまだようすけ

中学二年生であだ名は《暇人》！！

そんな悲しい俺は今、ダチ3人と公民館に来ているわけですが。

「で、結局何しに来たわけ？」

「「「さあ・・・」」」

無気力な声が重なってしまった・・・。

「とりあえず何するか決めようよ。俺は卓球がいい。」

公民館といえば卓球だ。

これならみんな納得してくれるだろう。

「おいおい何を言ってるんだいその暇人よ。」

こいつはダチ1号。あだ名は《金髪》。

「ふ・・・。全くだ。」

続いてこいつはダチ2号。あだ名は《ナルシ》。

「金髪とナルシの言うとおりだぜ、暇人。」

（前略）あだ名は《鼻毛》。

「で、何が言いたいわけ3人とも。」

「「「そりゃあ、公民館といえば・・・なあ？」」」

「公民館といえば？」

「スカート捲りだろ」「ゲームだろ」「小銭探しだろ」

・・・。

「そこは揃えろよ！！」

なに今の、てか最後の悲しすぎないか・・・。

「んじゃあ、スカート捲りから説明願おう。誰だコレ言ったの」

「俺だ。」

ナルシ。

「お前かつ！・・・んで、君いたいいくつだと思ってるんだい？」

「2年生・・・。」

「中学だろだろうが！」

あ、やばい。ナルシの目が血走った・・・。

「心はまだ小学2年生なんじゃ！スカート捲りは男のロマンだ！文句あるか！！」

なんだよそれ・・・。

「脳みそが小学生並だと認めるのなら許してやろつ。」

「うっ！」

ナルシがすねた。

一人脱落。

「次、ゲーム言ったヤツ。」

「ああ、それ俺だ。」

金髪。

「まあ、現実的だからいいとする。だが、ゲームがしたいなら一人でテト○スやってろ。」

金髪がすねた。

二人脱落。

「はい、一番悲しいヤツ。」

「・・・。」

「うん、もうわかってるから・・・。」

「・・・そういえば昼ドラが」

「関係ねーだろー！！」

「う・・・。」

「しゃあない、金が欲しいのは分かった。ほら、取ってこー~~~~~
くいー！！」

俺は公民館のそばの田んぼにチップを投げた。

あ、もちろんゲーセンのコインだけ。

しかし、ほんとに金欠だったらしい鼻毛は、6月の田んぼにダイブした・・・。

鼻毛が消えた。

3人脱落。

「さあ、帰るか・・・」

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9309y/>

俺たち悲しき中学生

2011年11月27日21時51分発行